



異様な大統領選挙

- “外様”党員の出馬
 - 共和党: **ドナルド・トランプ** = 転々
1987~99年: 共和党 → 1999~01年: 改革党
→ 2001~09年: 民主党 → 2009~11年: 共和党
→ 2011~12年: 無所属 → 2012年~: 共和党
 - 民主党: **バーニー・サンダース**
= 自称、民主社会主義者
1979~2015年: 無所属 → 2015年~: 民主党
- 非主流派の出馬
 - 共和党: **テッド・クルーズ** = 「ティー・パーティ」派

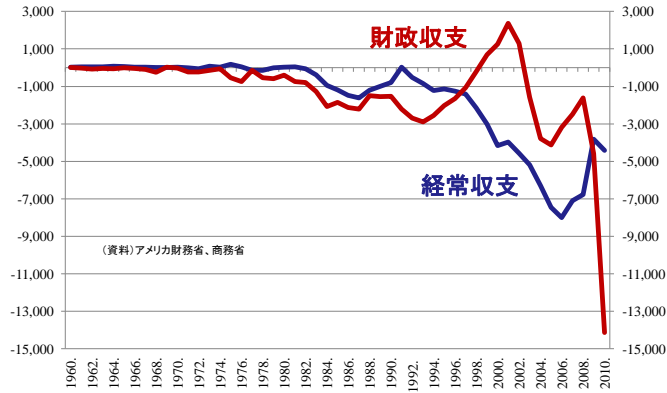
トランプ発言集

- “I would like Mexico to pay for that wall. Mark my words.” (Campaign Launch 2015) **メキシコに国境の壁を建てさせる**
- “When Mexico sends its people, They're sending people that have lots of problems, and they're bringing those problems with them - they're bringing crime, they're bringing drug addiction, they're bringing mental illness, and all kinds of problems.” (Campaign Launch 2015) **メキシコは犯罪者、麻薬中毒者、犯罪者、精神病患者、薬物依存者、健康問題を運び込んでいる**
- “I will not allow another Syrian refugee to be admitted to the United States. We will not accept another Syrian refugee.” (Campaign Launch 2015) **私が大統領になればシリア難民は入国させないし、すでに入国した者は送還する**
- “There should be a total and complete shutdown of Muslims entering the United States until we know who they really are.” (Speech at USSS, 2015) **イスラム教徒はすべて、完全にアメリカからシャットアウトすべきだ**
- “I don't think we're doing a good job of protecting our country. I think we're doing a terrible job of protecting our country. I think we're doing a terrible job of protecting our country. I think we're doing a terrible job of protecting our country.” (Speech at USSS, 2015) **自分が何をしているかも分かっていないワシントンの人々のおかげで、アメリカは滅茶苦茶になる**
- “We used to call it the quiet majority, but people are fed up - they are fed up with incompetence, they are fed up with the establishment, they are fed up with the media, they are fed up with the politicians, they are fed up with the system.” (Speech at USSS, 2015) **「物言わぬ大衆」は無能なリーダーたちにウンザリしている**
- “I think you'd be surprised to know that in many cases first-time voters are the ones who are voting for me.” (Speech at USSS, 2015) **私は、人生で初めて投票している大衆を代表している**

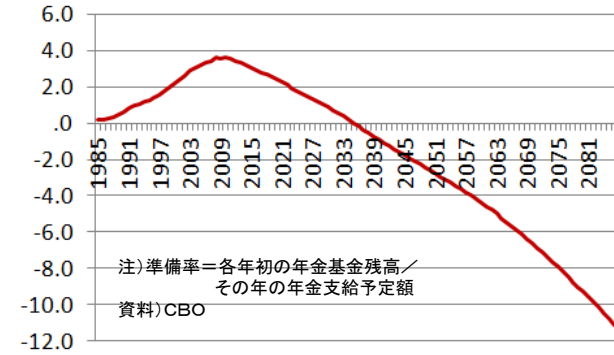
既成政治への不満

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 解決できない諸問題 <ul style="list-style-type: none"> - 「双子の赤字」 - 「年金問題」 - 「医療問題」 - 「経済格差の問題」 - 「移民問題」 - 「泥沼化する中東介入」 • 新たな心配事 <ul style="list-style-type: none"> - 中国の台頭 - グローバル化 • 機能不全の政治 <ul style="list-style-type: none"> - 現政権への不満 - 共和党の機能不全 | ➔ | <ul style="list-style-type: none"> • 反ワシントン • 反ウォール・ストリート • 反エスタブリッシュメント • 反エリート • 反インテリ <p>⇒ 既成政治への不満・不審</p> |
|---|---|--|

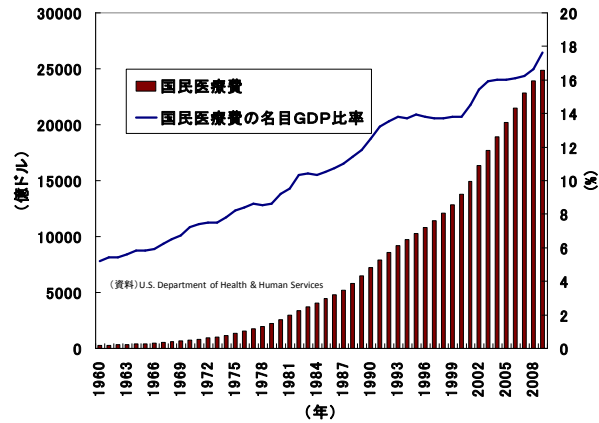
双子の赤字(億ドル)



年金基金の準備率

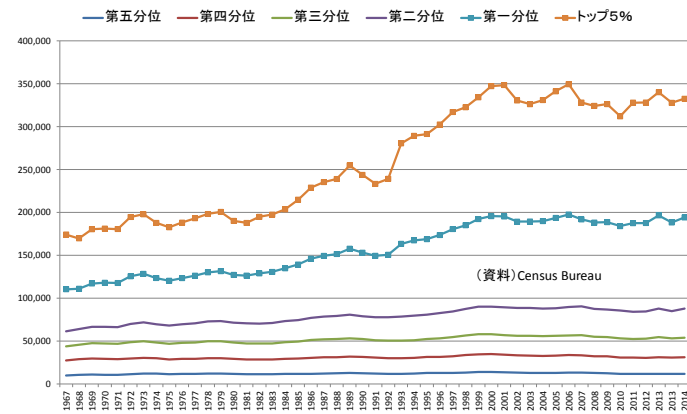


アメリカの国民医療費



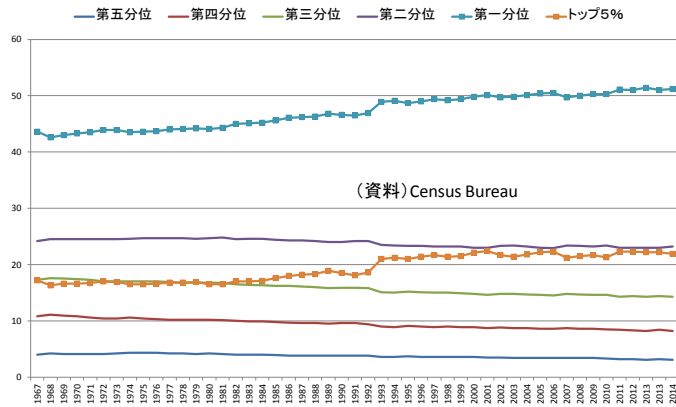
広がる貧富格差

各分位の中間家計の収入額



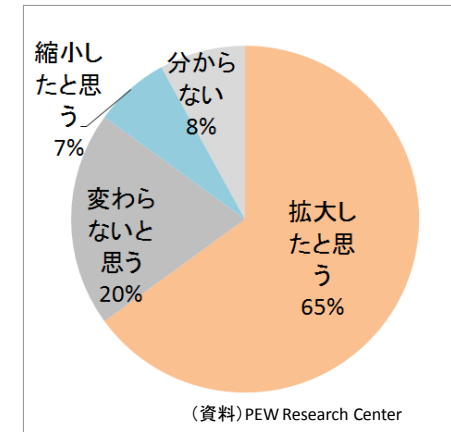
広がる貧富格差

各分位の中位家計の所得シェア



「10年前と比べて貧富の格差は？」

(2012年調査)



OWS運動

Occupy Wall Street Movement

- 2011年9月17日～ ニューヨークのウォール街
周辺を占拠
11月15日 Zuccotti Parkから排除される

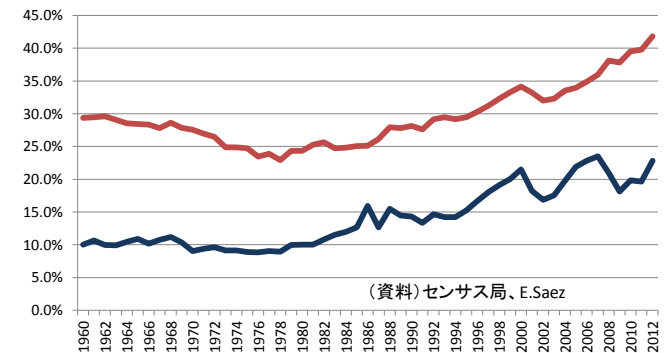
格差への抗議 **‘We are the 99%’**

公平な富の分配の要求

企業(とくに金融資本)に奉仕する政治への批判

銀行改革と学生ローン負担の救済要求

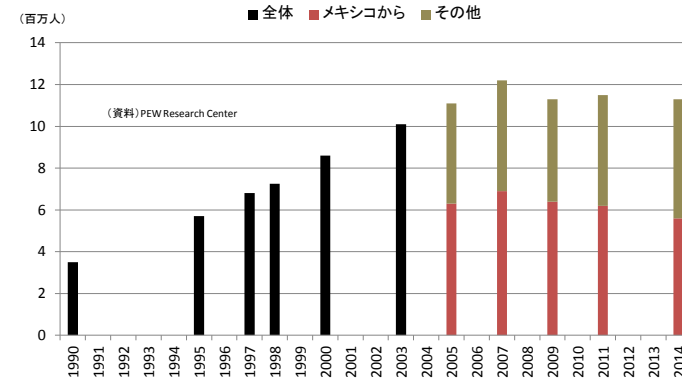
上位1%の所得・資産シェア



学生ローン問題

1. 全米の学生ローン残高は2014年末で1.2兆ドル(約140兆円)。過去10年間にほぼ三倍に膨張。
2. ひとり当たり負債額は平均で3万ドル(約330万円)
3. 延滞率は約12%まで上昇。
景気回復期にあって改善している他のローンと逆の傾向。
4. 問題の背景には:
 1. 進学率の上昇: 約7割が大学進学(日本は約55%)
 2. 学費の高騰: 私学の場合で年3万ドル(約330万円、2013年)。10年前の1.5倍に増加。
 3. 学生ローンの利用拡大: 約7割が「学生ローン」を利用。卒業時の平均負債総額は約2万5千ドル(約270万円)。
 4. 就職状況の悪化: 「四大卒の約48%は大卒の資格不要の職に就いており、37%は高卒資格相応の仕事に就いている。」
5. 少額借入者の延滞が目立つという問題も・・・中退者が多いから

一千万人を超える残留不法移民



分断社会・アメリカ

『「階級社会」アメリカのタブー』1983

P. Fussel

『ザ・ワーク・オブ・ネーションズ』1991

“symbolic analysts”-R. Reich

『孤独なボウリング』2000

“social capital” R. Putnam

『階級「断絶」社会アメリカ』2012

“cognitive elite”-C. Murray, R. Hernstein

ポール・ファッセル

『「階級社会」アメリカのタブー』

1983年

- 当時のタブーへの挑戦。賛否両論。
- 本当の上流階級は目立たない。木立に囲まれた住宅に住み、車はフォード
- 上流ほど居住する地域にこだわる
- ワイン(白)を飲むか、ビールを飲むかの違い
- 文字入りの衣類を好むのは下層階級
- 上流階級は居間にテレビを置かない
- 仕事とお出掛けの服装差が大きいほど下流
- 好むスポーツ、読書のジャンルで階級が分かる

チャールズ・マレー
『階級「断絶」社会アメリカ』
2012年

「新上流階級」「新たなエリート階級」

“cognitive elite”-Charles Murray, Richard Hernstein

“creative class”-Richard Florida

従来の「エリート」: 高所得だが、生活様式や文化は“庶民”と共有

新たなエリート階級: 親世代以来、有名大学を卒業し、セレブが集まる地域に住み、生活様式や文化も“庶民”とは異質に

「新たなエリート階級」と「新たな下層階級」への分離
典型的な類型:

「ベルモントの住人」と「フィッシュタウンの住人」

「階級」の顕現化と、ティーパーティー運動、OWS運動

フィッシュタウンの人々

- 結婚しない人の増加、離婚の増加
- シングル・マザー／片親の子供、婚外子の増加。
- 働こうとしない・ぶらぶらしている者(寝ている・テレビを観ているなど)・障害者給付申請の増加
- 自分で生計を立てていない(親に依存など)
- 「ソーシャル・キャピタル」と疎遠。コミュニティから孤立しているなど。投票率の低下。

共和党の迷走

<60年代以降>「ニューディール連合」優位に対する**保守の巻返し**

<90年代央> **ギングリッチ旋風**と「**アメリカとの契約**」

財政均衡、福祉改革(福祉依存排除)など

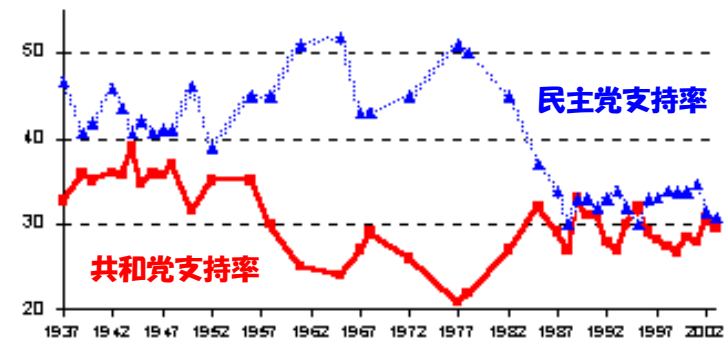
<2000年ころ> ノーキストの「**水曜会**」と

「**Leave us alone運動**」「**納税者保護誓約**」

「小さな政府」要求、反増税

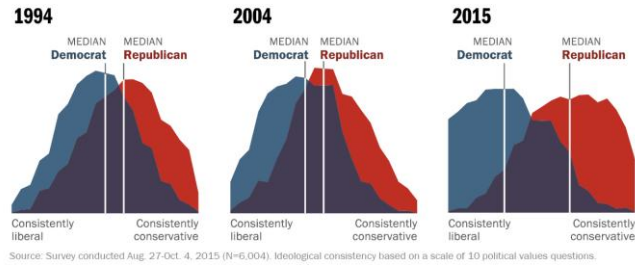
<2009年〜>「**ティーパーティー(Tea Party)運動**」

民主党優位から互角へ



(資料) PEW Research Center for People and the Press

保守・リベラルへの両極化



(資料) PEW Research Center

アメリカ大統領選挙

2015年4月ころ: 出馬表明

2016年1月～ : 各党候補者の選出 (所謂「予備選挙」)

共和党予備選挙 民主党予備選挙

2016年7月 : 各党全国大会で大統領・副大統領候補選出

7/18～21 共和党全国大会 7/25～28 民主党全国大会

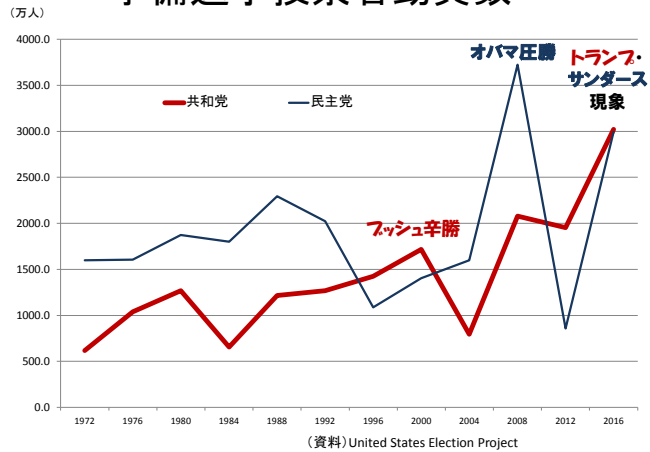
～2016年10月: 大統領選挙戦 (所謂「本選挙」)

2016年11月8日: 大統領選挙日 (大統領選挙人の選出)

2016年12月: 大統領選挙人による投票

2017年1月20日: 大統領就任式

予備選挙投票者動員数



予備選挙と本選挙の投票率

